

横田の航空機も参加、岩国基地フレンドシップデー Yokota supports Iwakuni Air Show

May 11, 2016

Original text by Senior Airman David Owsianka
374th Airlift Wing Public Affairs

海上自衛隊/米海兵隊 岩国航空基地で5月5日、「第40回 フレンドシップデー」が開催され、横田基地の航空機、C-12ヒューロンとUH-1Nヒューイも地上展示に参加した。

海上自衛隊と米海軍岩国基地では、地域住民との友好を深める目的で、毎年一度、基地を開放する催しを行ってきた。昨年、海上自衛隊第31航空群が毎年開いていた「航空基地祭」と米軍岩国基地のこれまでの「親善デー」がひとつのイベントに統合され、名称を「海上自衛隊/米海兵隊 岩国航空基地フレンドシップデー」と新たに日米両国の文化を紹介する場として生まれ変わった。今年は、約17万5000人の来場者が訪れ、日米の親睦を深めた。

航空機地上展示に参加した横田基地第459空輸中隊ビンセント・バスケス中尉は、「同じ在日米軍である基地のイベントに参加でき、日本人々に触れ合えるこの機会を光栄に思う。航空機を公開し見ってもらうことによって、日本人々に我々の任務をより理解してもらうことができ、同盟国としての絆がより深まる」と語った。

岩国基地最大のこの恒例イベントでは、一日を通じて航空機の地上展示や航空ショーのほか、食べ物やエンターテインメントなど、盛りだくさんの催しが行われた。

航空ショーは、「ペンバートン・エアロスポーツ」によるムササビスーツを着た大ジャンプ、「ウィスキー・パパ」による曲技飛行、「フライトデザイン」による滑走路を疾走するフェラーリが上空のエア・レース・パイロット室屋義秀に挑む空対地レース、米陸軍パラシュートチーム「ゴールデンナイツ」による降下デモ、そしてAV-8Bハリアー、MV-22Bオスプレイ、海兵空地任務部隊による飛行デモと太平洋空軍によるF-16の飛行デモが行われた。

また来場者には、岩国に拠点を置く海兵第171師団支援中隊の重機などの装備、遠征地で使用するキッチンや多種多様な軍用車両が公開されたほか、沖縄の地上主力部隊の海兵隊員が地上での戦略も実演した。

来場者の一人、イトウ・ナオコさんは「この基地のイベントに来てとても良かった。飛行デモンストレーションを見れたり、基地の人々と接することができて楽しかった」と感想を述べていた。

この催しを通じて、来場者たちは日本とアメリカの同盟を象徴する貴重な文化体験をすることができた。

「岩国基地最大の日米交流イベントである『フレンドシップデー』への来場者は遠方からも多い。今年は第40回を迎えた節目でもあり、また九州における地震で被災された多くの方々に心を寄せ、支援する機会ともなったことから、例年以上に特別な催しとなった」とイベントコーディネーターで同基地の運用部長ロバート・E・カールソン中佐はコメントを述べた。



岩国基地の第40回フレンドシップデーで、来場者と交流する横田基地第459空輸中隊UH-1Nヒューイの隊員



アメリカ国内外で活躍する米陸軍のパラシュートデモ部隊「ゴールデンナイツ」によるデモンストレーション



F-16の飛行を写真に収める来場者たち